

東京大学横断型教育プログラム

海洋学際教育プログラム

2024
University-wide Education Program
Interdisciplinary Education Program on
Ocean Science and Policy

海洋学際教育プログラム

2024

ガイダンス

2024年4月8日(月)18:00~

工学部 2号館 212号講義室

オンライン 併用で実施

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/83274441934?pwd=5qd49bHBctQcMx2qs7hfkCZiwXcydU.1>

ミーティングID: 832 7444 1934 パスコード: 074320

E-mail : oa-office@oa.u-tokyo.ac.jp

Tel : 04-7136-6416

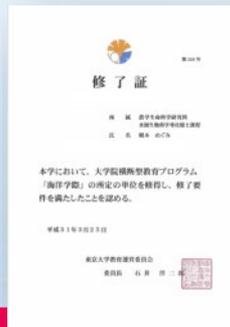
<https://www.oa.u-tokyo.ac.jp/>

10月入学の学生で履修を希望する場合には、直接、海洋学際教育プログラム事務局までご連絡下さい。



横断型教育プログラム 修了証授与までのステップ

Our process is easy



First

Second

Third

Last

科目履修登録

科目単位認定

修了証申請

修了証授与

登録申請書
の提出

新領域創成科学研究
科教務係が担当し、
本部の学務課が確認

修了が要件、
博士課程は単位
取得退学も可

教育運営委員長で
ある理事・副学長
名による授与

1年目で修了要件※を満たした場合には修了証授与見込み証明を発行
就活での利用も可能

※修了要件は12単位

科目種別	必須修得単位数
必修科目	4
選択必修科目	4
小計	8
選択必修科目または 推奨科目	4
合計	12

東京大学横断型教育プログラム

海洋学際教育プログラム

2024

University-wide Education Program

Interdisciplinary Education Program on
Ocean Science and Policy

目的と特色

東京大学横断型教育プログラム

海洋学際教育プログラム

目的

海洋に係わる諸問題を学際的なアプローチから解決できる人材の育成

特色

工学、農学、理学などの自然科学・科学技術と国際海洋法や海洋政策などの社会科学の文理融合教育

国土交通省、水産研究・教育機構、環日本海環境協力センター（国連環境計画関連機関）、国連食糧農業機関や国連工業開発機関などの国際機関におけるインターンシップ実習

文系理系のあらゆる研究科から約60名の学生が履修し研究科を横断した交流を通じた幅広いネットワークの形成

実務経験者を招聘しての実践的な事例研究を通じた演習

東京大学横断型教育プログラム

海洋学際教育プログラム

2024
University-wide Education Program
Interdisciplinary Education Program on
Ocean Science and Policy

主要講義科目

主要講義科目



必修科目

海洋問題演習 4単位

すべての履修学生がする演習科目



推奨科目

各研究科ですでに開講されている
14科目の中から選択



選択必修科目

理学系	海洋基礎科学	2単位
工学系	海洋工学基礎	2単位
農学生命科学	海洋生物資源利用論	2単位
新領域創成科学	海洋法・海洋政策 インターソップ [®] 実習	2単位
公共政策	海洋科学技術政策論	2単位
	国際海洋法制度概論	2単位
	沿岸域管理法制度論	2単位
	海事政策論	2単位



プログラム科目/時間割 Sセメスター

■ 理学系研究科
 ■ 工学系研究科
 ■ 農学部生命科学研究科
■ 新領域創成科学研究科
 ■ 公共政策学教育部

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1					
2			水圏生態論 推	国際海洋法 制度概論 選	
3	海洋工学基礎 選				
4		交渉と合意 推			
5	海洋問題 演習 I ~Va 必				
6					

教育プログラム科目種別

必 必修科目

選 選択必修科目

推 推奨科目



プログラム科目/時間割 Aセメスター

理学系研究科 工学系研究科 農学部生命科学研究科

新領域創成科学研究科 公共政策学教育部

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1			海洋生物学 (推)		
2		海洋環境モデリング (推)	海洋底ダイナミクス (推)		選
3		海洋科学技術政策論 (選)		海事技術イノベーション (推)	
4	複雑流体システムモデリング (推)		Science, Technology and Public Policy (推)		海洋基礎科学 (選)
5	Science, Technology and Public Policy (推)		水圏流砂漂砂論E (推)		
6	海洋問題演習 I ~ Va (必)		海事政策論 (選)		

教育プログラム科目種別

必 必修科目

選 選択必修科目

推 推奨科目



プログラム科目/時間割

■ 理学系研究科 ■ 工学系研究科 ■ 農学部生命科学研究科
■ 新領域創成科学研究科 ■ 公共政策学教育部

	科目名	学期
集中	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;">国際水産開発学 総論</div> 推	A1、A2、W
	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;">国際水産開発学 特論</div> 推	A1、A2、W
	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;">海洋生物資源 利用論</div> 選	A1
	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;">水域保全学</div> 推	A1
通年	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;">海洋法・海洋政策 インターンシップ[※]実習</div> 選	※インターンシップは 実施時期により決定

教育プログラム科目種別

必 必修科目

選 選択必修科目

推 推奨科目

※2024年度不開講科目

- (選択)・沿岸域管理法制度概論
- (推奨)・水産資源管理学
- ・国際空間秩序と法



プログラム科目/時間割

講義の履修登録とは別に教育プログラムのWEB登録をして、演習・実習などの実施に当たっての教務連絡がスムーズになるように配慮しています。

2024年度 大学院横断型教育プログラム



海洋学際教育プログラム

問い合わせ先 海洋学際教育プログラム事務局 (柏キャンパス大気海洋研究所 520号室)
E-mail : oa-office@sa.u-tokyo.ac.jp
TEL : 04-7136-6416 (内線66416)

【実施科目一覧】

	実施部署	科目名	科目番号	単位数	学期
必修科目	理	海洋問題演習 I	35616-6001	4	通年
	工	海洋問題演習 II	3799-201	4	通年
	農	海洋問題演習 III	3904139	4	通年
	新	海洋問題演習 IV	47155-21	4	通年
	公	事例研究 (海洋問題演習 Va)	5140500	2	S1, S2
		事例研究 (海洋問題演習 Vb)	5140501	2	A1, A2
選択必修科目	新	海洋法・海洋政策インターンシップ実習	47157-26	2	通年
	公	海事政策論	5122502	2	A1, A2
		国際海洋法制度概論	5121500	2	S1, S2
		沿岸域管理 法制度論	5121501	2	2024年度不開講
		海洋科学技術政策論	5122501	2	A1, A2
	理	海洋基礎科学	35616-6002	2	A1, A2
	工	海洋工学基礎	3799-202	2	S1, S2
農	海洋生物資源利用論	3904138	2	A1集中	
推奨科目	理	海洋生態ダイナミクス	35616-1030	2	A1, A2
		海洋生物学	35617-6001	2	A1, A2
	工	水圏沈砂輸砂論 E (Sediment transport in hydrosphere)	3713-095	2	A1, A2
		複雑流体システムモデリング	3736-106	2	S1, S2
		海事技術イノベーション	3736-114	2	A1, A2
	農	水産資源管理学	3904109	2	2024年度不開講
		国際水産開発学総論	3910190	1	A1, A2, W集中
		国際水産開発学特論	3910191	1	A1, A2, W集中
		水産保全学	3911116	2	A1集中
	新	水産生態論	47151-05	2	S1, S2
		海洋環境モデリング	47230-09	2	A1, A2
	公	Sciences, Technology and Public Policy	5112131	2	A1
		国際空間秩序と法	5121130	2	2024年度、2025年度不開講
交渉と合意		5130020-1	2	S1, S2	

東京大学横断型教育プログラム

海洋学際教育プログラム

2024

University-wide Education Program

Interdisciplinary Education Program on
Ocean Science and Policy

海洋問題演習

Sセメスター

各課題で活躍中の方
による講義と討論

廃棄プラスチックを無くす国際ア
ライアンス、公益財団法人笹川平
和財団海洋政策研究所海洋政策研
究部、鹿児島大学、宮城県水産総
合技術センター、日本風力発電協
会国際部長、湾岸航空局 ほか

各課題の中から4000字程度
のレポートを作成させ評価



Aセメスター

各課題でそれぞれ1テーマを設定し、チームによる問題設定と
解決策の発表

課題毎および各課題代表チームによる発表と評価

上記に加えて学生個人が担当したテーマについてレポートを
作成させ評価

< 過去の実施課題 >

- ・「海岸清掃ボランティアの情報共有に向けたプラットフォームの提案」
- ・「日本のサーモン養殖の課題と展望～養殖業はどうあるべきか～」
- ・「地域創成と海～漁村とブルーツーリズム～」
- ・「秋田県における洋上風力～O&M人材の育成について～」
- ・「ブルーカーボン生態系がもたらすコベネフィットの「見える化」に向けて」
- ・「北九州の洋上風力関連産業を発展させるためには～サプライチェーン構築の
観点から～」

2024年度 海洋問題演習課題

学問分野横断的な思考の獲得および政策立案・問題解決能力を涵養する応用型の教育科目

海ごみ・海洋プラスチック問題



海洋ごみ・プラスチック問題の解決に向けた施策

海洋再生可能エネルギー



「洋上風力発電・その関連産業」、
「地元の社会・経済との関わり」

マリンバイオセキュリティ



マリンバイオセキュリティの正確な現状認識に基づく防疫意識の向上

地域創成と海



海洋に関わる3次産業、新しい物流、ワーケーション等の活用による地域創成戦略の考案

世界にコミットする問題発掘とその具体的対応行動



カーボンニュートラル実現に向けて海洋が果たす役割

Sセメスターは、12名の実務経験者による講義を通じた演習

Aセメスターは、学生がチームを作ったのフィールドワークを通じた演習



海洋法・海洋政策インターンシップ実習

海洋法・海洋政策インターンシップ実習

教育プログラムの基盤となるインターンシップ制度

海洋環境に関わる海洋法・海洋政策を総合的に学習

政策立案・実施する省庁・関係機関へ派遣（2週間～1か月）

国土交通省:

気象庁・海上保安庁を含む約10のスポットに原則1名ずつ派遣

水産研究・教育機構

本部業務に関連する会議参加等に2~3名派遣

(公財)環日本海環境協力センター(NPEC、国連環境計画の関連機関)

国際環境協力、生物多様性、海洋ゴミの各コースに2~3名派遣



国交省関係インターンシップ 過年度の一例

令和5年度 国交省インターンシップ内容

	受入部署	人数	実習内容	実習期間
1	総合政策局 海洋政策課	3名	海洋政策課課が携わっている各種案件や、他省庁及び他国政府などとの海洋政策関係の会議（国際会議を含む）についての補助業務	・9月中旬（2週間） ・10月中旬（2週間） ・1月下旬（2週間）
2	港湾局 海岸・防災課	1名	基礎的データの整理や説明資料作成等の業務、関連会議への傍聴出席・議事録作成補助等	9月下旬（2週間）
3	港湾局 技術企画課 技術監理室	1名	技術基準に関する検討会議・WGなどの資料作成やとりまとめ等の補助業務	9月下旬（2週間）
4	気象庁 大気海洋部 環境・海洋気象課	1名	気象観測船乗船して、海洋気象観測全般を体験	8月中旬：打ち合わせ 9月中旬（1週間）
5	気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課 気候変動対策推進室	1名	懇談会の資料準備、気候変動に関する一般向けイベントの開催準備や運営、普及啓発動画の作成等の広報関連業務、気象庁ウェブコンテンツの改訂内容検討等	12月中旬（2週間）



海外インターンシップ (実習期間：3カ月程度)

海外インターンシップ（実習期間：3カ月程度）

1 世界の舞台での実務経験

- ・ 自身の研究や関連研究の推進
- ・ 最前線の研究者・専門家との議論

2 人的ネットワーク形成

- ・ 国際機関スタッフとの交流
- ・ 他のインターン生とのネットワーク

- ・ 本学の大学院学生の中から、国際機関へ少数精鋭で派遣
- ・ テーマに対応して現地の機関職員と協力しながら職務を遂行
- ・ 成果を報告書として取りまとめ、報告会やシンポジウム等で発表



世界に展開する海外インターンシップ派遣機関



International Tsunami Information Center
(Honolulu, USA)



International Maritime Organization
(London, United Kingdom)



Union Nations Industrial Development Organization
(Vienna, Austria)



Pacific Tsunami Warning Center
(Honolulu, USA)



Intergovernmental Oceanographic Commission of UNESCO
(Oostende, Belgium)
(Venice, Italy)



Food and Agriculture Organization of the United Nations
(Rome, Italy)
(Mauritius)



Southeast Asian Fisheries Development Center
(Bangkok, Thailand)



International Hydrographic Organization
(Monaco)



International Atomic Energy Agency
(Vienna, Austria)
(Monaco)



Asia and the Pacific of the World Organisation for Animal Health
(Tokyo, Japan)

海外インターンシップ派遣実績

	機関	派遣地域	派遣学生数(年度)										
			2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
連携機関	国際連合食糧農業機関	FAO	ローマ・モーリシャス	2	1	1	-	2	-	1	-	-	2
	国際水路機関事務局	IHO	モナコ	1	-	-	-	-	1	-	-	1	1
	国際津波情報センター	ITIC	ホノルル	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-
	太平洋津波警報センター	PTWC	ホノルル	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	国際海事機関	IMO	ロンドン	-	2	-	2	-	1	-	-	-	2
	東南アジア漁業開発センター	SEAFDEC	バンコク	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
	国際連合工業開発機関	UNIDO	ウィーン	-	-	4	5	3	1	-	2	-	-
	国際原子力機関	IAEA	ウィーン・モナコ	-	-	2	2	-	-	-	-	1	1
	ユネスコ政府間海洋学委員会	UNESCO/IOC	オステンド・ヴェニス	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-
	国際獣疫事務局アジア太平洋地域事務所	IOE	東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般枠	国際協力機構	JICA	アンティグア・バーブーダ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	アメリカ海洋大気庁/太平洋海洋環境研究所	NOAA/PMEL	シアトル	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	アメリカ海洋大気庁/南西水産科学センター	NOAA/SWFSC	サンディエゴ	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	オーストリア連邦科学産業研究機構	SCIRO	ホバード	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	メリーランド大学チェサピーク生物学研究所	CBL	メリーランド	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	アルフレッドウェグナー極地海洋研究所	AWI	ブレーマーハーフェン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
合計				6	7	12	15	6	4	1	2	2	7

2019～2021年度は連携機関のみの派遣、2020～2021年度はコロナ禍の影響を受けたが2022年度からは現地での派遣再開

海洋学際教育プログラム

2024

ガイダンス

2024年4月8日(月)18:00~

工学部 2号館 212号講義室

オンライン 併用で実施

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/83274441934?pwd=5qd49bHBctQcMx2qs7hfkCZiwXcydU.1>

ミーティングID: 832 7444 1934 パスコード: 074320

E-mail : oa-office@oa.u-tokyo.ac.jp

Tel : 04-7136-6416

<https://www.oa.u-tokyo.ac.jp/>

10月入学の学生で履修を希望する場合には、直接、海洋学際教育プログラム事務局までご連絡下さい。

